

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
一般	07	01	02	0408	特産品開発・販路拡大事業		
総合計画	分野	しごと					
	政策	1-5	農工商観連携の推進				
	施策	2	特産品の開発				
目的	花巻産の農畜産物を活用した新たな加工品開発						
対象	市内企業						
意図	特産品の開発と販路の拡大						
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること							
<div>○ 6次産業化推進 花巻産農畜産物を活用した新たな加工品開発等にかかる 6次産業化推進事業補助金の交付</div> <div>○ 日本貿易振興機構盛岡情報貿易センター支援 日本貿易振興機構盛岡情報貿易センター負担金の交付</div>							
市民参画の有無 [対象外]							
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		事業協力・協定	
		後援・協賛		○ 補助・助成		委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）			単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	6次産業化推進事業補助金交付件数		件	計画	6	6	
				実績	3		
②				計画			
				実績			
③				計画			
				実績			
成果指標（上記「意図」に対応）			単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	6次産業化推進事業補助金の加工品開発に取り組んだ事業所数		事業所	目標	3	3	
				実績	3	0	
②				目標			
				実績			
③				目標			
				実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		○	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
産業支援施策制度説明会や企業訪問を通じて事業所へ働きかけを行うとともに、農政部門における農家への説明会等を通じて、制度への理解を促進し、加工品開発の取り組みを促進したが、当該年度においては事業実施まで至らなかった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	6次産業化による農業者等の所得向上はもとより、多業種の企業の新たな取組みや戦略展開の支援は、地域経済の活性化に直結するため、市内中小企業の育成の観点からも、市の支援により取組む必要がある。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	支援制度の更なる周知や、農政部門との連携をより密にし、農商工関係部門が一体的に促進することによって成果の向上が図られる。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	必要最小限の補助金交付が事業の主体であるため、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	全ての市内中小企業を対象としており、意欲さえあれば広く制度を活用することができるため、受益機会は均等である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括		
地域の農畜産物を活用した新たな付加価値を生み出すビジネスを創出することにより、地域産業の活性化を図ることが可能となる。		

平成 27 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	07	01	02	0408	特産品開発・販路拡大事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		2,625	210		△ 2,415
財源内訳					
	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	2,625	210		△ 2,415

事業期間	〇	単年度繰返		期間限定	[平成 年度 ～ 平成 年度]
部経営方針における目標					
多様な産業の集積を促し、それらの連携による付加価値の拡大を図ります。					
事業開始の背景・経緯					
農畜産業者の所得の確保が重要課題であり、6次産業化は、雇用を生む産業の創出を促進し、地域の再生と活性化をもたらすと期待され、地域の農畜産物を活用した新事業の創出等に関する施策を総合的に推進することにより、農畜産業者の所得向上を図ることに寄与することを主					
事業概要					
○ 6次産業化推進 花巻産農畜産物を活用した新たな加工品開発等にかかる6次産業化推進事業補助金の交付 ○ 日本貿易振興機構盛岡情報貿易センター支援 日本貿易振興機構盛岡情報貿易センター負担金の交付					
事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等					
地域を代表する特産品開発が停滞している状況にある。					

担当部署 部名 商工観光部 課名 商工労政課 担当係長 伊藤浩之 内線 388

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

■ 6次産業化推進事業補助金交付 0 千円

花巻産の農畜産物を活用し、加工品開発、加工施設、販売施設、提供施設を整備に要する経費を助成する。

対象事業	補助対象経費	補助率	補助率	限度回数
加工品開発	花巻産農畜産物を活用した加工品の開発及び販路拡大等に要する経費であって、次に掲げるもの ・原材料費、機械装置等のレンタル、リース経費、外注加工費、試作開発費、検査分析費、その他試作品開発に要する経費 ・調査研究費その他市場評価の実施に要する経費 ・広報宣伝費、展示会等出展費その他販路開拓に要する経費 ・共通経費等（直接人件費を除く。）	2分の1	100万円	一の補助事業者につき1回とする。ただし、継続して事業実施する場合は、一年度内1回とし、連続する二年度内の2回までとする。
加工施設・機械整備	花巻産農畜産物を活用した加工品の開発に必要な加工施設及び機械等の整備に要する経費	3分の1	100万円	一の補助事業者につき1回とする。
販売施設整備	花巻産農畜産物及びその加工品を積極的に販売する施設及び什器等の整備に要する経費			
提供施設整備	花巻産農畜産物を活用した調理品を積極的に提供する施設及び什器等の整備に要する経費			

【採択要件】

対象事業	採択要件	限度回数
加工品開発	製造する加工品が花巻産農畜産物を主な原材料とすること、又は加工品を特徴づける原材料が花巻産農畜産物であること。花巻産農畜産物は、契約栽培等による安定した原材料の供給ができることを証明すること。	1 新規性・独自性 2 具体性・実現性 3 市場性 4 地域活性化への波及効果
加工施設・機械整備	製造する加工品が花巻産農畜産物を主な原材料とすること、又は加工品を特徴づける原材料が花巻産農畜産物であること。実施主体は、第1次産業（農業、林業等）に従事する市内事業者又は市内グループであること。	
販売施設整備	花巻産農畜産物とその加工品の販売額が全体の5割以上であること。実施主体は、第1次産業（農業、林業等）に従事する市内事業者又は市内グループであること。	
提供施設整備	花巻産農畜産物の食材使用量（重量ベース）が5割以上である調理品がメニュー全体の5割以上であること。実施主体は、第1次産業（農業、林業等）に従事する市内事業者又は市内グループであること。	

■ 日本貿易振興機構盛岡情報貿易センター支援 210 千円